

令和元年8月

各 位

神 戸 税 関

テロ対策の水際強化に係る協力依頼（お願い）

平素より税関行政に対し、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。


神戸税関では、管内で開催されるG20労働雇用大臣会合、G20保健大臣会合をはじめ、全国で開催されるラグビーワールドカップ、即位礼正殿の儀等に対するテロ対策の強化を喫緊の課題とし、船舶・航空機の取締り、旅客・乗組員の手荷物検査、輸入貨物検査を強化することとしております。

効果的な水際取締りを実施するためには、皆様のご理解とご協力を賜ることが不可欠であります。

このような状況をご高察のうえ、本対策の趣旨にご理解をいただくとともに、税関行政に関わりの深い皆様におかれましては、不審と思われる状況があった場合には、些細な事柄でも結構ですので、速やかに税関までご連絡くださいますようお願い申し上げます。



テロに関する情報や不審貨物等に関する情報がございましたら、どんな些細なものでも結構ですので、最寄りの税関又は以下の連絡先へお知らせください。

・ 密輸ダイヤル (24 時間受付)  フリーダイヤル シロイクロイ 0120-461-961

・ 税関 HP 「密輸情報提供のお願い」

(<http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>)



※緊急の場合は、密輸ダイヤル (24 時間受付) をご利用下さい。

皆様からの情報が、「安全・安心な社会」実現への第一歩となります！

テロ警戒中



税関検査にご協力を
お願いいたします



神戸税関

密輸情報提供のお願い

密輸防止には皆様の情報提供が大きな力となります。身の回りで「不審な貨物」や「あやしい言動をする不審者」などを目にした際は税関密輸ダイヤルにご連絡ください。

税関密輸ダイヤル(24時間受付)

フリーダイヤル **0120 - 461 - 961**
許しません シロイ(粉) クロイ(武器)

税関密輸情報提供サイト

<http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>

密輸情報
提供サイト
QRコード



1. テロ対策

最近の国際テロ情勢を見ると、海外で官公庁、公共施設を標的としたテロ事件が発生するなど依然として緊迫しており、本年にG20関連閣僚会合（9月～11月）、ラグビーワールドカップ（9月～11月）等の開催、2020年に東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控える我が国においては、テロ対策にも万全を期すべく、関係機関と連携して水際取締りの強化に取り組んでいます。

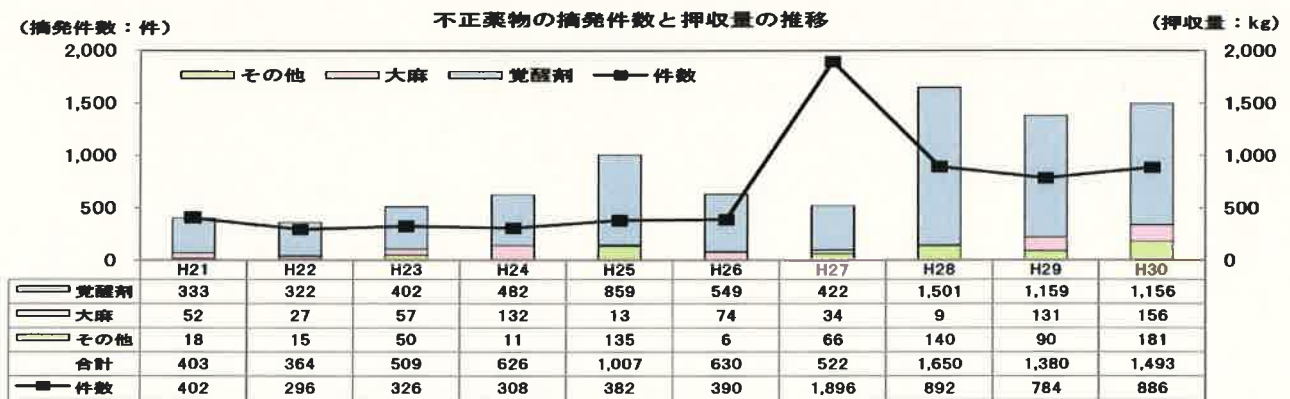
●世界各地で大規模イベントを狙ったテロが頻発

イベント	事件
国連総会(2016)	ニューヨークで、圧力鍋と携帯電話を使用した爆弾テロ事件。29人が負傷
ブラジル・リオオリンピック・パラリンピック(2016)	爆弾テロを計画していたとされるブラジル人等が拘束
トルコ・G20サミット(2015)	イスタンブールで「大規模なテロ」を当局阻止 フランス同時多発テロと同日
フランス・第21回国連気候変動枠組み条約締約国会議[COP21](2015)	パリ内外6カ所、同時多発テロ事件 130人以上死亡
ロシア・ソチオリンピック(2014)	ソチ郊外で3件の連続自爆テロ事件
米国・ボストンマラソン大会(2013)	ボストンマラソン連続爆弾テロ事件 3人死亡、200人以上負傷
英国・グレインイーグルスサミット(2005)	ロンドン中心部、地下鉄等同時多発テロ事件 56人死亡、約700人負傷
米国・アトランタオリンピック(1996)	オリンピック百年記念公園爆弾テロ事件
ドイツ・ミュンヘンオリンピック (1972)	イスラエル選手団襲撃事件

2. 不正薬物の摘発状況

平成 30 年に全国の税関が摘発した不正薬物密輸入事犯の件数は 886 件(前年比 13%増)、押収量は約 1,493kg(前年比 8%増)であり、摘発件数及び押収量とも過去 3 番目と依然として深刻な状況が続いています。

- 覚醒剤：史上初めて3年連続1トン超え
- 大麻：摘発件数、押収量とも急増した前年を上回る増加
- その他：特にコカイン、MDMAの押収量が急増（コカインの押収量は過去最高）



(注) その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
なお、指定薬物は平成 27 年 4 月に「輸入してはならない貨物」に追加された。

3. 金の摘発状況

平成 30 年に全国の税関が摘発した金地金密輸入事犯の件数は 1,088 件（前年比 20%減）、押収量は 2,119kg（前年比約 65%減）でしたが、手口が小口・巧妙化しており、引き続き全国の税関で取締りを強化、平成 30 年 4 月 10 日施行の改正関税法による罰則強化など、厳正に対処しています。

- 摘発した密輸形態別でみると、前年は航空機旅客等による密輸入が全体の 9 割以上であったのに対して、平成 30 年は、航空機旅客等が約 6 割にとどまる一方、航空貨物等、密輸形態が多様化
- 摘発事例は全国にまたがっており、大規模空港のみならず、地方の海港・空港でも摘発

過去 10 年間の摘発状況

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
摘発件数(件)	27	15	17	18	12	119	465	811	1,347	1,088
押収量(kg)	214	92	63	79	133	449	2,032	2,802	6,277	2,119 ^(注)

(注)平成 30 年の押収量は速報値